

## 競技注意事項（大会申し合わせ事項）

本大会は、障がいの有無に関係なく一緒に競技することで理解を深めることを主旨としています。各種目に異なる障がいを有する競技者が参加しています。障がい特性により競技規則が認められた範囲内で配慮がされることがあります。

本大会の、他会場（駒沢競技場）では、障がいのある競技者と無い競技者が一緒に競技しますが、本会場で実施される投てき競技については、障がいのある競技者のみが参加します。

種目		砲丸投		円盤投		やり投		計
障がい種別	クラス	男	女	男	女	男	女	
視覚障がい	F11	1						1
	F12	1				2		3
	F13					1		1
知的障がい	F20	1	1			1	1	4
脳原性まひ(車いす)	F34		1				1	2
脳原性まひ(立位)	F37	1		3		2		6
	F38	1				1		2
低身長	F40		1					1
	F41					2		2
機能障がい(立位)	F46	1		1		3		5
機能障がい(車いす)	F52			1				1
	F54			1		1		2
	F57	1				1		2
切断(義足使用)	F63					1		1
	F64		1		2			3
IMP(※)			1	1	1	1	1	5
計		7	5	7	3	16	3	41

※IMP:IPCによる障がいクラスを保有していないが障がいがある選手

### 1. 競技規則について

2021 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施します。ただし、パラ種目競技者については、立位・車いすの部で該当するクラスにおいて、2021-2022 World Para Athletics(WPA)競技規則が適用されます。なお、IPC 登録者の記録は WPA 公認となります。

日本陸連公認の部の選手の衣類については、日本陸連広告規程が適用されます。ただし IPC 登録者で WPA 公認対象種目では、WPA 広告規程が適用されます。それ以外のパラ種目競技者については、WPA、World Athletics(WA)どちらの広告規程でも可とします。チーム名については、規程内の「国名」の項を適用します。

なお、基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨ご了承ください。

本競技会期間中における競技開始前の練習においても同様とします。

## 2. 受付について

競技者受付は、大会本部横に設置します。検温を受け、体調管理チェックシートを提出された競技者、アシスタント、コーチ、付き添いには、リストバンドをお渡しします。装着が確認できない場合は、競技場への立ち入りは認められませんので、常に装着してください(車いす競技者のウォームアップや競技中については車いすのフレームでも構いません)。また、アクセス区分を設けるため、競技者には「選手ID」、競技者1名につき1枚の「コーチID」を支給します。アシスタントには「ガイド・アシスタントID」を支給します。

## 3. 練習会場について

本競技場には、ウォームアップ用競技場はありません。

25日(金)の14:00~18:00 日本体育大学横浜キャンパス健志台陸上競技場で練習が可能です。

26日(土)の投てき練習については、競技開始前、最低2度の練習投てきを保証します。

競技場使用については、競技役員の指示にしたがい、事故のないよう十分に注意してください。

## 4. 各種書類について

「欠場届」「リクエスト・フォーム(ルールにないアシスタントの入場など)」「上訴申立書」の配布および受付は「TIC」にて行います。

「重複出場届」「補助申請書(マーカー設置申請等)」の配布および受付は「招集所」にて行います。

## 5. 招集について

① 招集所は、百年記念館入口横(テント)に設けます。

② 下記の招集開始時刻に招集所に集合してください。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
立位投てき種目	競技開始時刻の 40分前	30 分前
座位投てき種目	競技開始時刻の 25分前	15 分前

③ 競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブス(ナンバーカード)をつけ、マスクとリストバンド、必要に応じて防寒着等を着用して集合し、荷物はスパイク(必要な場合のみ)、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にしてください。また、マスクは競技を行う際そのまま置いておくことのないよう衣類のポケットやケース、袋等に入れる、他の荷物の中に挟むなど感染症予防に留意し、終了後は直ちに装着してください。また、シューズ袋など類似品の多いものについては記名や目印をつける等、他者の持ちものと取り違えることのないよう、注意してください。なお、競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場所で行ってください。

④ 代理人による招集は一切認めません。

- ⑤ 招集所では、アスリートビブス(胸・背)、スパイク、衣類・バックなどの商標、車いす・投てき台、所持品、アシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。なお、競技規則 7 条 3(b)により、携帯電話等の機器は競技場内に持ち込むことはできません。
- ⑥ 欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を「TIC」に提出します。
- ⑦ 競技種目が重なり一方の種目の招集完了時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所へ移動して当該種目の審判にその旨を伝え、指示に従ってください。
- ⑧ 持ち込み禁止物は招集所で預かり、TIC で返却します。
- ⑨ 指導者および同伴者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらぬよう努めてください。
- ⑩ 車いす競技者は、アシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。

## 6. アスリートビブスについて (ナンバーカード)について

- ① アスリートビブスは、1 名につき2枚配布します(胸・背用)(競技規則 6 条 7・8)。
- ② アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けます。
- ③ 車いす競技者は、背用を投てき台の後部に付けます。

## 7. 競技エリアの入退場について

- ① 競技エリアの入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、アシスタントのみ可能です。
- ② 招集所から競技エリアへの入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示に従います。

## 8. 競技について

- ① 立位の投てき種目については、日本陸連公認種目を日本陸連競技規則で実施することとして参加者を募集しており、投てき物は、一般用の重量の使用を前提としています。ただし日本陸連が公認する年齢条件(U18 や高校など)やパラ陸上における障がいクラスを理由に別の重量での競技を希望する場合は、受付時に申し出てください。パラ公認対象は一般の重量のみとします。競技は重量の別に関係なく同条件でおこないます(8-⑧参照)。競技後の記録発表は、重量別となります。
- ② やり投げ用のスパイクピンの長さは、9mm 以下とします。
- ③ 招集完了後は練習を含めすべて競技役員の指示に従います。
- ④ 競技者は、勝手に競技場所を離れることはできません。
- ⑤ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外されます。

警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされます。

#### ⑥ アイマスク、アイパッチ

F11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時に行いますが、競技場所で再検査を行う事があります。

#### ⑦ アシスタント

- i. アシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。
- ii. F11、F12の競技においては、アシスタントを同行させることができます。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導できますが、競技成立以前にエリア内(砲丸投や円盤投の場合は「サークル」、やり投の場合は「助走路」とその「角度線の内側」)に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無効試技となります。
- iii. F20、F35-38、F42-47、F61-64のやり投においては、招集時に助走路に置くマーカールの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカールを設置することができます。
- iv. F31-F33および F51-F54の投てき競技においては、アシスタントを同行させることができます。座位投てき競技のアシスタントは競技者の投てき台設置及び投てき台への移動の補助はできますが、試技中は競技エリアから離れなければなりません。また、競技役員は、投てき台への移動補助はできません。

#### ⑧ 競技

- i. 立位では、8人を超える競技者が競技を行う場合には、各競技者に3回の試技が許され、投てき物の重量に関係なく一緒に試技をした中で、有効な成績の上位8人の競技者に、さらに3回の試技が許されます。**投てき物の重量の差は考慮しません**。競技者が8人以下の場合には、各競技者に6回の試技が許されます。
- ii. 投てき台の固定後、競技者の投てき台への移動、固定、及びその後の練習のための時間は F32-34 および F54-57は 4分以内、F31および F51-53は 5分以内です。
- iii. 座位投てき種目における服装(下衣)は、身体に密着していなければなりません(スパッツ等)。
- iv. 座位の投てき競技は6連投とします(それぞれの投てき時間は1分。3連投後、1分休憩をとることができます)。
- v. フィールド競技が行われる近接のエリアに「コーチ席」を設けます。

#### ⑨ 座位投てき

- i. 車いすおよび座位投てき用の投てき台の検査は招集時に行われますが、競技エリアで再検査を行う事があります。

- ⑩ 競技規則 8 条 2 および 17 条 5 による警告を 2 回受けた競技者は失格とし、本競技会における以後のすべての種目に出場できません。
- ⑪ 両足義足使用の競技者(F61、F62)は、招集時に MASH(最大許可身長)の計測を行います。

## 9. 競技用具について

- ① 競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS(欠場)として扱います。
- ② 投てき用具については、原則として競技場備え付けの用具を使用します。ただし、競技場備え付け投てき用具リストにないもの、個数が十分でないものは、1 人上限2個まで、WA 認証品で技術総務の検査に合格したものに限り持ち込みを認めます。なお、当該用具は主催者で借り上げ、参加競技者全員が使用できるものとしします。
- ③ 投てき用具の持ち込みを希望する競技者は、当該種目の招集開始90分前までに「TIC」に「投てき用具検査申請書」とともに投てき用具を提出してください。その際、「預り証」を発行します。競技終了後、預り証と引き換えに「TIC」で返却します。
- ④ 投てき競技に参加する競技者でタンマグなどの滑り止めが必要な場合は、各自で用意してください。また、アシスタント伴う場合は、競技者を投てき台に移動できる方としてください。競技役員、補助員その他の者が移動の補助を行うことはできませんので、注意してください。

## 10. クラス分けについて

- ① 本競技会ではパラアスリート(肢体障がい)の国内クラス分けを実施します。対象となる競技者並びに実施時間や場所については、個別に連絡します。また、希望があった競技者に対してもクラス分けを実施します。
- ② 国内クラス分けの実施方法ならびに準備物等については、JPAホームページのクラス分け委員会のページにて確認をしてください。「JPAクラス分け診断書」、「JPAクラス分け自己申告書」等は、JPAホームページ内のクラス分け委員会のページからダウンロード可能です。  
(<https://jaafd.org/>)
- ③ 国内クラス分け結果については、競技場内の TIC に掲示するとともに、競技会終了後に本連盟ホームページにて公開します。
- ④ IPC 登録並びに国際クラス分けが終了している競技者は、そのクラスで行った競技の記録が World Para Athletics 公認記録となります。
- ⑤ クラス分けに関する質問などは、下記までメールにて問い合わせてください。  
JPA クラス分け委員会 [jpa.classification@gmail.com](mailto:jpa.classification@gmail.com)

## 11. ドーピング・コントロール・テストについて

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ② 本競技会参加者(18歳未満の競技者含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- ③ 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後7日以内にJADA事務局へ郵送で提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- ④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- ⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。
- ⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

## 12. 抗議と上訴について

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できません。競技後は、記録の公式発表から30分以内に競技者自身または代理人がTICに口頭で申し出てください。審判長が判定し、TICを通じて裁定を伝えます。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金(1万円)を添え、TICを通じてジュリー(上訴審判)に申し立てを行ってください。

## 13. 表彰について

表彰は行いません。なお、希望者には記録証を1部300円で発行しますので、10:00~15:00に、

TICへ申し込んでください。郵送等はいりません。

#### 14. 一般注意事項

- ① トレーナブースは開設しません。
- ② 競技結果および番組編成リストは TIC に掲示します。また、速報サイトにも掲載します。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。



- ③ プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。(受付用紙はTICに置きます)。
- ④ 悪天により競技を一部中断もしくは中止することがあります。
- ⑤ 各種目の記録については、令和4年3月5日時点のものです。
- ⑥ 撮影についてのお願い: 悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。

- 1) 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
- 2) 出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等
- 3) 大会事務局

また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。

なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。

- ⑦ 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他パラ陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。
- ⑧ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。
- ⑨ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。
- ⑩ 競技場
  - i. 競技場の関係者入口の開門は8:00、閉門は19:00とします。
  - ii. 観客席は設置しません。
  - iii. 貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。
  - iv. 届けられた遺失物は TIC で競技終了まで保管します。

- v. 競技会場における広告及び展示物に関する規定にもとづき、競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めません。
- vi. 応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名（スポンサー名）の露出をすることを禁止します。（ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません）。
- vii. 競技場の環境美化に協力をお願いします。各自出したゴミは持ち帰ってください。
- viii. 競技場及び競技会で使用できる施設以外への立ち入りを禁止します。

⑪ 更衣室など

- i. 更衣室は、極力三密を避けて使用してください。
- ii. 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定し、百年記念館4階に設置します。男子は1407教室、女子は1408教室とし、移動の際はエレベーターをご利用ください。
- iii. 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可します。更衣室への移動時も、競技者、付き添いともマスクおよびリストバンド、IDを必ず身に付けてください。

⑫ 靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められません。

⑬ 障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TIC にリクエストフォームを提出し許可を得てください。

<https://jaafd.org/wp-content/uploads/2020/09/20200901a2.pdf> （一部抜粋）

種目	ソールの最大の厚さ（TR5.5）に基づく）	補足
フィールド種目 （三段跳除く）	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。



【参考】

1. 障がいクラス別投てき重量一覧

<b>男子砲丸</b>									
クラス	F11	F12	F20	F37	F38	F46	F57		
重量	7.26kg	7.26kg	7.26kg	5.00kg	5.00kg	6.00kg	4.00kg		
<b>男子円盤</b>									
クラス	F20	F37	F46	F52	F54				
重量	2kg	1kg	1.5kg	1kg	1kg				
<b>男子やり</b>									
クラス	F12	F20	F37	F38	F41	F46	F54	F57	F63
重量	800g	800g	600g	800g	600g	800g	600g	600g	800g
<b>女子砲丸</b>									
クラス	F20	F34	F40	F64	F70(中学生)				
重量	4.00kg	3.00kg	3.00kg	4.00kg	2.721kg				
<b>女子円盤</b>									
クラス	F64	F70							
重量	1kg	1kg							
<b>女子やり</b>									
クラス	F20	F34	F70						
重量	600g	600g	600g						

2. 競技場備え付け投てき物一覧

用具		種別	メーカー	品名等	数量	合計
砲丸	男	一般 (7.260kg)	NISHI	鉄製	4	4
		高校・U20 (6.000kg)	NISHI	鉄製	4	4
		中学・U18(5.000kg)	NISHI	鉄製	4	4
	女	一般 (4.000kg)	NISHI	鉄製	4	4
		中学(2.721kg)	NISHI	鉄製	6	6
	パラ	3.000kg	NISHI	鑄鉄	2	2
	2.000kg	NEMETH	鉄製	6	6	
円盤	男	一般 (2.000kg)	NISHI	SUPER	3	9
				HIGH MOMENT	4	
				ユルゲンシュルツ	2	
	U18(1.500kg)	NISHI	HIGH MOMENT	3	3	
	女子	一般・高校・U20・U18 (1.000kg)	NISHI	SUPER	5	8
			HIGH MOMENT	3		
やり	男子	一般・高校・U20 (800g)	NORDIC	Super Elite / flex6.8	1	6
				Orbit / flex6.6	1	
				Airglider / flex6.1	2	
			NISHI	SUPER	1	
			Nemeth classic / 85m	1		
	女子	一般・高校・U20 (600g)	NORDIC	Diana classic / flex7.2	1	7
				Diana classic / flex7.7	2	
				Diana flex6.2	1	
			NISHI	SUPER	1	
			Nemeth classic / 80m	1		
			Nemeth classic / 75m	1		